

備前市事務事業評価表

事務事業名	結核予防事業	コード	02-02-05-01
		担当課・係	保健課健康係
		担当者	横山 和代
事業実施期間	昭和26年～	電話	0869-64-1820
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目(基本施策)	健やかで生き生きしたまちづくり	
	小項目(施策)	結核・じん肺（検診などの充実）	

事業について	
目的 (何のために)	昭和26年に制定された結核予防法に基づき、結核感染者の早期発見・感染の防止を図る。
対象 (誰・何を対象に)	備前市在住で、学校や職場などで検診の機会のない40歳以上の人
内容	胸部レントゲン検診車による結核検診（集団検診）

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
胸部間接撮影受診者数	7,412 人	6,529 人	
胸部間接撮影受診率	53.2 %	58.2 %	
精検者数	216 人	307 人	
精検受診者数	202 人	294 人	
精検受診率	95.4 %	96.0 %	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	5,410	国庫補助金等	直接事業費	4,697	国庫補助金等	直接事業費	
	人件費	4,087	受益者負担	人件費	3,465	受益者負担	人件費	
	合計	9,497	市債 一般財源等	合計	8,162	市債 一般財源等	合計	0

必要人員	0.67 人	0.65 人	
結果指標名	胸部間接撮影受診者数		胸部間接撮影受診者数
結果指標量	7,412	6,529	
単位	人	人	
対前年比	-	88.09%	0.00%
活動にかかるコスト	9,497,000 円	8,162,000 円	
単位当たりコスト	1,281 円	1,250 円	
結果指標名	精検受診者数		精検受診者数
結果指標量	202	294	
単位	人	人	
対前年比	-	145.54%	0.00%
活動にかかるコスト	9,497,000 円	8,162,000 円	
単位当たりコスト	47,014 円	27,762 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	結核・呼吸器疾患患者の早期発見、早期治療		
成果指標名	受診率	式又は説明	受診者数/受診対象者数
	17年度	18年度	
成果指標量	53.2	58	
対前年比	-	109.40%	0.00%
到達目標値	55.0%	到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等： 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進捗管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的な情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	昭和46年度から肺がん検診と合わせて実施していたが、平成18年度からは大腸がん検診も追加して実施。
目標値	結果指標量	検診受診率	結果指標量	精検受診率
	成果指標量	は60%	は100%	

総合評価	法律改正による検診対象年齢の引き上げの為、40歳未満の若年受診者が300名程減少し、65歳以上の受診者も病院受診などの為520名程減少となった。	評価区分 <A~E>	B
------	--	---------------	---

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	愛育委員、広報、HP等による受診勧奨、電話や訪問等による精検受診勧奨	随時	検診受診率及び精検受診率の向上